

# 柏高ニュース

第20号  
平成26年3月20日  
東大阪大学柏原高等学校

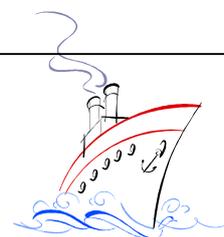
## 校長コラム - 今年度最終号に寄せて

いよいよ今日が学年末の終業式です。成績アップやダウン、皆勤・精勤の各賞の受賞、クラブでの活躍や生徒会活動への参加、不登校の克服等々、悲喜こもごもの年度末となったことでしょう。「努力は人を裏切らない」私の好きな言葉です。頑張れば必ず成果が表われるし、頑張らなかった人には厳しい現実が待ち構えています。この1年間の反省を胸に、来年度の一層の飛躍を決意して、また一步、着実に歩いていきましょう。

各クラブでは、全国大会出場や強化合宿などハードスケジュールな春休みとなります。健康面、安全面には十分注意して、大いなる成果を上げてください。めざすは全国制覇！

## 終業式、いよいよ進級！

～明日は「春分の日」、春へ！～



『<sup>き</sup>湧えかえり <sup>き</sup>湧えかえりつつ 春なかば』(西山泊雲.) 春になって<sup>ゆる</sup>緩んだ寒気がまた振り返し、やがて春になっていく、そうしたことを詠んだ歌ですが、まさにそんな感じです。新学期まで約20日、心も体もリフレッシュして、元気に新学期を迎えましょう。この春休み、4つのクラブが全国大会に出場します。サッカー部、ラグビー部もシーズンイン。次号で紹介します。

## ニュースです！

### \* 空手道部！

第33回 近畿高等学校空手道大会 1月25日(土)～26日(日) 和歌山ビッグホエール  
男子団体戦 準優勝 以下が出場メンバーです。全国選抜大会に出場します。

溝口誠(2年) <寝屋川市第8中出身>、宇都和希(2年) <大阪市長吉中出身>、盆子原遼馬(2年) <寝屋川市第2中出身>、松村優輝(2年) <奈良市登美ヶ丘中出身>、口クカルゲ晃啓(1年) <東大阪市花園中出身>、平恵司郎(1年) <奈良市香芝西中出身>、塔野岡哲(1年) <八尾市大正中出身>、原田拓馬(1年) <大阪市大宮中出身>

\* 柔道部 第55回 近畿高等学校柔道新人大会 1月25日(土) 兵庫県立武道館

男子個人の部(60kg以下級) 準優勝 福島慎人(2年) <堺市月州中出身>

### \* 日本拳法部！

大阪高等学校日本拳法秋季大会 団体戦 第3位 11月10日(日) なみはやドーム  
大阪高等学校日本拳法秋季大会 個人戦で予選通過 11月23日(土) 大阪市中央体育館

団体戦、個人戦ともに、3月29日(土)～30日(日)に大阪城の修道館での全国大会に出場します。以下は出場メンバーです。

大谷瑛二(2年)<尼崎市小田北中出身>、川崎大輝(2年)<大阪市東陽中出身>、梅本慎(2年)<奈良県三郷中出身>、藤原麻人(2年)<大阪市鶴見橋中出身>、石井仁哉(2年)<羽曳野市誉田中出身>、稲村泰史(2年)<大阪市長吉六反中出身>、古谷北斗(2年)<大阪市長吉六反中出身>、釜我雄大(1年)<大阪市真住中出身>

**\* スポーツチャンバラ部！ 大阪選手権大会 2月23日(日) なみはやドーム**

高校・大学の長剣の部 第3位 平岡遼太郎(2年)<八尾市大正中出身>

**\* バドミントン部が堅下北小学校へ出前体験に！**

2月20日(木)の午後、バドミントン部の2年生の4名(曾根雄太<大阪市豊津西中出身>、疋田聖也<奈良市若草中出身>、千葉大<堺市三国丘中出身>、堤琢馬<滋賀県聖徳中出身>)が、堅下北小学校のバドミントンクラブに出前体験に行きました。引率は顧問の近藤先生でした。小学生は、4・5・6年の20名、ほとんどが女の子で、先生は女性の先生2名と、校長先生、教頭先生も参観に来られました。床に落ちたシャトルをラケットですくって拾う練習からはじまってラリーまで体験しました。最後に、シングルスとダブルスも模範試合を見てもらいました。

激しいラリーやスマッシュの応酬に、子どもたちからも先生からも歓声があがりました。特にダブルスのゲームではコンビネーションのすばらしさにおどろいた様子でした。地元の小学校でこうして出前の体験に出かけることは大切ですね。

近藤先生の初めのお話・・・ バドミントンの発祥地は「インド」 バドミントン競技の始まりは「イギリス」 羽根の呼び方は「シャトルコック」

シャトルコックの材料は「ガチョウの羽根」  
バドミントンの強い国「中国・インドネシア(国技)・デンマーク・イギリス・日本」



**\* トークイベント『し<sup>いわく</sup>’曰く』に山藤先生が出演！**

2月7日(金)の夜、なんばの「道頓堀ZAZAハウス」という小さなスタジオで、吉本興業の主催で『し<sup>いわく</sup>’曰く』というトークイベントがあり、山藤先生が出演しました。きっかけは、柏原のリビエールホールから(舞台の運営を吉本興業が担っている)「師というテーマのトークイベントを企画している。出演していただける運動部の先生を紹介してほしい」という依頼が学校にあり、サッカー部監督の山藤先生を紹介したのです。本番では、『し<sup>いわく</sup>’曰く』ということで、3名の教師が語りあいました。一人は京都の立命館高校の数学の女性の先生、一人は兵庫県の公立高校の世界史の先生、大阪の高校で体育科の山藤先生でした。司会は元は芸人だったという弁護士の先生と、二人の漫才師の方。小さなスタジオでしたが、観客は150名ぐらいいたと思います。柏高からは、井川・市野・野津・谷山・久賀田の先生方が参加しました。「先生になった理由は?」「思い出に残っている出来事は?」「先生にとっての家族って?」「教師になった喜びは?」・・・よしもとらしい軽妙な司会とやり取りで、あっという間の2時間でした。山藤先生はいつもの先生らしく、時にはおもしろく、時にはしみりとした「山藤節」でした。「弁護士」「医師」に続く第3弾とのことでしたが、ほかの先生方にも聞かせてあげたかったですね。 <写真は、終了後の出演者スナップ、後方右端が山藤先生。>

